

Everything DiSC® ワークプレイス・プロファイル 面談マニュアル

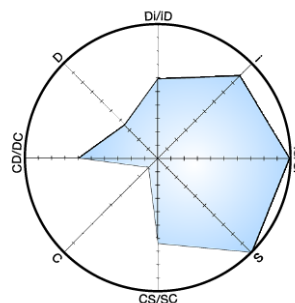
◆準備：相手のワークプレイス・プロファイル(P.4～6、P.16)と補足レポートを入手し、両者を比較しながら読み込んでおく

➤ プロファイル P.4 の事前確認

- ① 補足レポートの 1) DiSC 尺度のレーダーチャートにおいて各8つの「DiSC 尺度」にどれだけ反応しているのかを確認する。
- ② 補足レポートの 2) 「予想外な回答項目」について確認をする。その後、ワークプレイス・プロファイル P.4 の記述を読み、本人が個人化の作業を行う際に当てはまらないにチェックを付けるであろう記述を予測しておく。
- ③ さらに P.4 の記述に関して、以下の点についてアンダーラインやメモなどをしておく。
 - ・ その人の強みとして認識している部分
 - ・ 課題として本人に確認したい部分

1) 久保田さんの DiSC® 尺度

右に示される、久保田さんの「レーダーチャート」の形状は、8つのDiSC尺度のスコアを示しています。DiSCスタイルおよびドットの位置は、これらのスコアに基づく独自のアルゴリズムによって算出されます。ポイントが円の縁に近いほど、その尺度に関する久保田さんのスコアは高くなります。これらの尺度の詳細については、Everything DiSC 研究レポートをご覧ください。



2) Sスタイルとしては予想外な久保田さんの回答項目

以下の設問項目に対する久保田さんの回答結果は、ご本人のSスタイルと相関関係がありません。カッコ内の数字は、各設問への回答結果を5段階の目盛で示しています。

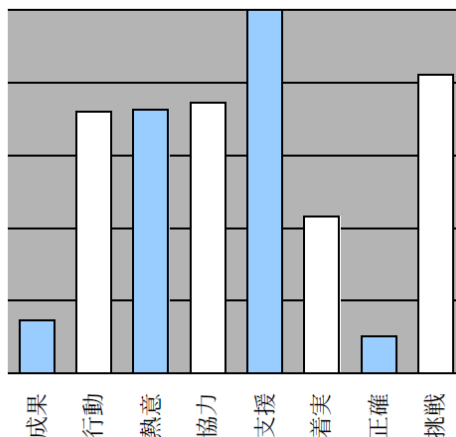
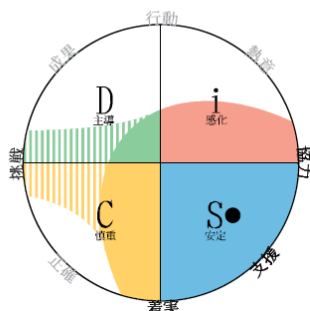
- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 私は、自分の意見に関してかなり強引になることがある。(4) | 私は自分の意見のために闘う傾向がある。(4) |
| 私は批判的だ。(4) | 私は、ペースの速い人間だ。(4) |
| 私は、生まれつき疑い深い傾向がある。(4) | 私は、時々理屈っぽくなる。(4) |
| 私は頑固になることがある。(4) | 私は、活動の中心にいるのが好きだ。(4) |
| 私は、論理を用いてアイデアについて討議するのを楽しむ。(4) | 私は、議論になると、少し頑固で批判的になる傾向がある。(4) |

➤ プロファイル P.5 の事前確認

- ① 補足レポートの 3) 「優先事項補助尺度」において、各優先事項のスコアを確認する。
- ② ワークプレイス・プロファイル P.5 の記述に関して、P4 と同様、強みと課題についてアンダーラインやメモをしておく。

3) 久保田さんの優先事項（プライオリティ）補助尺度

Everything DiSC Workplace®で特定する8つの優先事項補助尺度上のスコアは、久保田さんに1つもしくは2つの追加優先事項があるかどうかを判定するために使用されます。下記の久保田さんのDiSCマップ上のシェードは、ご本人のSスタイルに関連する3つの典型的な優先事項（協力、支援、着実）、およびストライプで示される追加優先事項（挑戦）、合計で4つの優先事項を示しています。



上記の棒グラフは、久保田さんの8つの優先事項尺度上のスコアを示しています。これにより、ご本人の追加優先事項が特定されました。

Everything DiSC[®] ワークプレイス・プロファイル 面談マニュアル

➤ プロファイル P.6 の事前確認

- ① 「モチベーションの要因」と「ストレスの要因」の記述に関して、本人に確認したい項目にチェックしておく。

➤ プロファイル P.16 の事前確認

- ① 職場での効果性を高める(克服すべき課題)ための対策 3 つを確認する。
- ② 本人へのフィードバックやアドバイスがあればメモしておく。

◆面談

【STEP1】本人にレポートを渡す

【STEP2】DiSC を活用する目的を伝える

「関係性構築」のためのツールであり、下記のステップで学ぶ

1. 自己理解 2. 他者理解 3. 他者適応

【STEP3】DiSC モデルの説明

- ① プロファイル P.7 の縦軸・横軸を用いて DiSC モデルが成り立っていることを説明する。
- ② 各スタイルの特徴については、P.2 の情報を用いてシンプルに説明する。
- ③ P.2 「Everything DiSC ワークプレイスの基本原則」についてしっかり説明する。

【STEP4】プロファイル P.3 で Everything DiSC マップの見方について説明する

- ・ 12 の領域のどこにドットが位置しているかでスタイルを知ることができる。
- ・ 円の中心から縁のどこにドットが位置しているかでそのスタイルの特性の強さがわかる。

【STEP5】DiSC スタイルからわかる、傾向性と強み・課題について確認する

- ① プロファイル P.4 を読み、当てはまる○、当てはまらない X、よくわからないに？を付けてもらい、最後に最も当てはまると思う記述3つにアンダーラインを引いてもらう。
- ② ○を付けた部分についてシェアしてもらい、具体的に職場のどんな場面で表れているのかを確認していく。
- ③ 当てはまらない、よくわからないものについて、なぜそうなのかを確認する。
 - ・ 解釈が違っている場合は、言い直して確認する
 - ・ 本人は自覚していないが、周囲から見ると当てはまる場合は具体例を挙げてフィードバックする
 - ・ 本当に当てはまらないもの、もしくは、仕事の役割行動上気を付けていることも含まれている可能性がある。事前準備で確認しておいた補足レポートの 2)「予想外の回答項目」にヒントが隠されている場合は、本人にも補足レポートの情報をシェアして確認してみる
- ④ 最後から 2 行目の「職場に最も貢献できる貴重な点(強み)」について、具体的に職場のどんな場面で強みとして貢献できているかを確認する。

Everything DiSC[®] ワークプレイス・プロフィール 面談マニュアル

【STEP6】優先事項とシェードについて説明する

- ・ ドットとシェード(心地良い領域)の関係性
- ・ 各スタイルは3つ優先事項から構成されており、人によっては、追加の優先事項がある

【STEP7】優先事項を確認する

- ① P.5 の優先事項について読み、各優先事項に関して、当てはまる○、当てはまらない X、よくわからないに？を付けてもらう。
- ② ○を付けた部分についてシェアしてもらい、具体的に職場のどんな場面で表れているのかを確認していく。
- ③ 当てはまらない、よくわからないものについて、なぜそうなのかを確認する。
 - ・ 解釈が違っている場合は、言い直して確認する
 - ・ 本人は自覚していないが、周囲から見ると当てはまる場合は具体例を挙げてフィードバックする
 - ・ 選ばれている優先事項のうち、補足レポートの 3)「優先事項補助尺度」において低いスコアを示しているものがあれば、本人にも補足レポートの情報をシェアする

【STEP8】相手の「モチベーションの要因」と「ストレス要因」について確認する

- ① P.6 の「モチベーションの要因」、「ストレスの要因」を読み、当てはまる○、当てはまらない X、よくわからないに？を付けるように伝える。さらに、各カテゴリーから1つずつ最も当てはまる記述にアンダーラインを引いてもらう。
- ② 当てはまるものについて具体例を確認する。
- ③ 当てはまらないもの、よくわからないものについてなぜそうなのかを確認する。

【STEP9】課題設定・アクションプランの作成

- ① P.16 を読んで、職場での効果性を高めるため(課題克服)の対策 1~3 のうち 1 つ選んで○を付けてもらう。
- ② なぜその対策を選んだのかを確認する。
- ③ この対策を用いて、どのような結果を達成したいのかを確認する。
- ④ この対策を実行するために、具体的にどのような行動を取る必要があるのかを考えてもらう。

例えば・・・

()という場面では()に対して()する

※3 つぐらい文章化する

Everything DiSC[®] ワークプレイス・プロフィール 面談マニュアル

【質問リスト】

- あなたが自覚しているこの強みは、どのような場面で発揮していると思うか？
- その行動は、チームにどのような影響を与えていると考える？
- その影響力をより発揮させるには、あと何ができるかな？
- 私から見ると、あなたはこんな強みも持っていると思うが、あなたは思う？
- もしこんな強みを発揮できたら、あなたの目標達成にどう影響すると思うか？
- あなたが自覚しているこの傾向性については、私はもったいない、克服したらもっと良いと考えているが、あなた自身が改善のためにやってみようと思うことは何か？
- そのチャレンジに、私はどんなサポートを提供すれば良い？
- 私から見ると、あなたのこの傾向性が気になりだが、あなたは思う？
- この傾向性を克服すると、あなたの影響力やパフォーマンスは大きく改善されると私は思うのだけれど、あなたは思う？
- 今まで確認してきたチャレンジ項目を、具体的なアクションプランにするとどういう表現になるか考えてみましょう。
- このプランを私も支援するので、修正や追加が必要なきには相談してください！